

ごどもファーストのまち・岐阜市

2008年をピークに人口減少が起きている日本。岐阜県も同様に人口が減り続けています。

そんな課題を解決するために大切なのは、子どもを産みやすく、育てやすい地域にしていこう。

今号は、「ごどもファーストのまち」を掲げ、さまざまな子育て支援に力を注ぐ岐阜市の取り組みを紹介しします。

妊娠期から切れ目なく支援する体制を構築

現代日本の大きな課題の一つが少子化。2019年、出生数は90万人を割り86万5千人、合計特殊出生率も1・36となりました。岐阜市でも2018年の調査で1・44と、人口維持に必要な数値とされる2・06には、遠く及ばないのが現状です。

柴橋正直岐阜市長は、2018年に就任した当初から「ごどもファースト」を政策の柱の一つに据えてきました。「ごどもファーストのまち・岐阜市」と題し、未来を担う子どもたちのことを第一に考えた取り組みを実施。幼児教育をはじめ、子育て世帯が安心して暮らせる環境づくりなどに力を入れ、子どもたちがのびのびと育つまちを目指しています。

力を入れているのは「幼児教育の推進」と「子育てをサポートする施設・制度」。「幼児教育の推進」については、幼児教育施設や家庭・保護者だけでなく、小学校、地域、研究

機関、行政などを交えた「オール岐阜」で協力し合い、「家庭教育の応援」「幼小をつなぐ」「実践研究の推進」を柱に、交流会やセミナーなどを開催。子どもたちの「学びに向かう力の芽生えと育ち」を支えています。

また、「子育てをサポートする施設・制度」として、妊娠期から切れ目のないサポートを実施。母子健康包括支援センターに妊娠前から相談できる専用窓口を設置し、さらに産後のパパ・ママをサポートするために多様な保育サービスを提供。病児・病後児保育施設を市内7カ所に開設し、うち2カ所では保育所等で保護者の迎えが困難な場合に、看護師がタクシーで迎えに行く送迎サービスも実施しています。

市立保育所20園のほかに、私立の保育園、認定こども園等が56施設あり、待機児童ゼロを継続。さらに、令和元年度から市立保育所で使用済み紙おむつを保育所で処理すること、保護者の負担軽減を図っています。

子育て世代の活用スポットを紹介！

第5回「ギフスタ!」フォトアワード グランプリ作品決定!

「子育て世代の活用スポット」をテーマに、子ども連れて楽しめるスポット、イベントなど岐阜市の魅力が伝わる写真が、Instagramにたくさん投稿されました。先日、グランプリを含む4作品を発表。子ども連れて楽しむ際の参考にしてみては?

他にも、おすすめの子育てスポットの写真がいっぱい! 「ギフスタ!」へのアクセスはこちら!



グランプリ作品。岐阜ファミリーパークの魅力が伝わっています。



YouTube



LINE



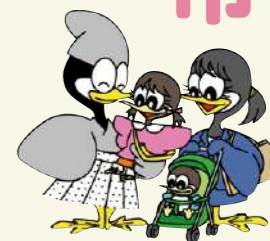
Twitter



Facebook

子育て支援情報に限らず、岐阜市に関するさまざまな情報がSNSで発信されています。ぜひフォローしてお役立ち情報をゲットしましょう!

岐阜市公式SNSで
岐阜市の情報を
キャッチ



うーたんにファミリー誕生!!
ぎふ長良川鵜飼のมาสコットキャラクター「うーたん」の新しいデザインが誕生しました



ぎふし共育都市プロジェクト

もっとパパとママが育児を楽しめるまちを目指して



WEB



Twitter



Instagram

ぎふし子育て応援アプリ

妊娠・出産・子育てに必要な情報を、いつでも簡単に知ることができる子育て世帯を応援するアプリです。ぜひ活用して役立てましょう!

下のQRコードより無料でダウンロードできます
*ダウンロード、及び利用には別途通信料がかかります

iPhoneの方は



Androidの方は



もっと地元での子育てを知ろう!



「パパ大学～子育て応援講座～」の様子。パパ向け、ママ向けの講座に分かれており、子どもの年齢に応じた内容が受講できます。「やったことがないからわからない」というパパにもおすすめです

子育てしやすい環境には パパの協力が不可欠

していく体制が整っています。さらに、義務教育終了までの子どもの保険診療の自己負担分を助成する子ども医療費助成、子ども食堂を運営する団体への支援、ひとり親家庭等への支援など、まさに「ごどもファースト」といえる多様な取り組みが行われています。

多くの支援で子どもを産みやすく、育てやすい環境にしようという取り組みが、岐阜市。「合計特殊出生率が人口維持のラインを下回るなか、2015年に国立社会保険・人口問題研究所が行った調査では、『夫婦が思う理想の子どもの数は2・32人』という結果もあります。産みたいと思っても、産み育てられないと考えられているんです」と岐阜市子ども政策課の担当者は話します。

子どもを産み育てるのに、重要な要素の一つが男性の育児参画。厚生労働省の調査結果では、男性が家事・育児に参画する時間が長いほど第2子以降が生まれる割合が高まるというデータがあります。夫婦がともに子育てする「共育」は、少子化対策に不可欠。そこで、岐阜市が令和元年度から行っている取り組みが「ぎふし共育都市プロジェクト」です。

主な取り組みの一つに育児のスキルや楽しみ方が学べる「パパ大学」子育て応援講座」があります。出産前から3歳の子を持つパパ・ママなど、子どもの成長に応じた講座を開催。パパ向けとママ向けの講座がそれぞれ同時に行われ、託児も行うため、パパと子どもだけで岐阜市内のスポットに出かけ、さまざまな体験プログラムをする「パパとキッズなホリデー」も大変人気です。いちご狩りやいも掘り、野外クッキングなど、今年度は8回開催される予定です。保育士が同行するため、ママ

パパとキッズなホリデーに 参加しました!

参加イベント
パパとキッズなホリデー
第4回
「野外クッキングとクラフトを楽しもう!」
【日時】11月22日(日)9時~16時
【場所】NEOキャンピングパーク

3~5歳の子どもとパパが10組参加。自然豊かなキャンプ場で、カレーをつくったり、マシュマロを焼いたり、勾玉のペンダントをつくったりと盛りだくさんのイベントです。

普段はあまり料理をしないというパパが多いなか、子どもと一緒にカレーづくりに奮闘。慣れない手つきで野菜を切り、でき上がったカレーを食べると「おいしい!」という歓声が響きました。

次に石を削って勾玉づくりに挑戦。パパと一緒に一生懸命がんばる子どももいれば、鬼ごっこをして遊ぶ子どもも。パパと一緒に遊んだり、子ども同士で遊んだり。子どももパパも、みんなが笑顔になった一日でした。



みんなで子どもを見る感じなので、ひとり親世代の人にも参加してほしいですね



初めての料理でしたが、おいしくてとてもうれしかったです。



一緒に料理に挑戦できていい経験ができました。



自分も子どもも楽しんで、ママにも自由な時間をつくってあげられました。

ぎふファミリー・サポート・センター 会員募集中!

ぎふファミリー・サポート・センターでは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」の新規会員を募集しています。センターでは、会員の仕事と育児の両立を、会員相互の活動により支援しています。子育て家庭をサポートし、子育てしやすい地域・支え合う地域づくりの担い手になりませんか。

連絡、または資料請求はこちら

☎058-295-3420

【開所時間】月~金曜 9時~17時30分/土曜 9時~12時

ひとり親家庭等 ガイドブック

ひとり親家庭等に対して実施されている、福祉資金の貸し付けや給付型奨学金の支給、大学生ボランティアの派遣など、さまざまな支援制度を紹介するガイドブック。



岐阜市 親と子のハンドブック ぶりあ

子育て支援に関する各種制度をはじめ、保育所や幼稚園、相談窓口やお出かけスポットまで子育てに関する情報がギュッと詰まったハンドブック。A5サイズにリニューアルされ、持ち運びしやすくなりました。

